年　　　月　　　日

保護者　様

　　　年　　　組　　　　 　　 　　　　さん

　校長

発育に関する健康診断結果のお知らせ

　学校保健安全法施行規則の一部改正により，平成28年度から，児童生徒等の健康診断において，学校で実施する身長・体重測定の結果をもとに，身長・体重成長曲線及び肥満度曲線を活用して発育の評価をすることになりました。

このたびの健康診断（発育に関する検診・検査）の結果は下記のとおりですので，なるべく早く小児科かかりつけ医等医療機関を受診され，指示を受けられますようお勧めします。

なお，受診後は，下記の受診結果報告書を，切り取らずに学校に提出してください。

【指示事項】

①　身長と体重の測定値から成長を評価したところ，成長曲線において注意が必要です。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １ | 高身長 | ２ | 身長の伸びが大きい | ３ | 低身長 | ４ | 身長の伸びが小さい | ５ | 極端な低身長 |
| ６ | 肥満 | ７ | 肥満の傾向が大きい | ８ | やせ | ９ | やせの傾向が大きい |

②　受診の際は，「健康診断結果のお知らせ」（本通知），「身長・体重成長曲線、肥満度曲線」，

「母子手帳」，「これまでの成長記録（園，小・中学校）」，「保険証」をご持参ください。

・・・・・・・・・・・・・・（切り取らないでください）・・・・・・・・・・・・・・・・

医療機関　様

　学校で行いました健康診断の結果は上記のとおりです。御多用のところ恐縮に存じますが，

御高診のうえ，これからの治療や生活について御指示くださいますようお願いします。

**成長・発達にかかわる受診結果報告書**

**＊受診結果**

**【　　】所見あり　　　診断名または所見名**

**【　　】所見なし**

**＊所見ありの場合の指示事項**

**【　　】処置不要**

**【　　】経過観察を要する　（次回　　　か月後受診）**

**【　　】治療を要する（□　当院にて治療　　□他医療機関紹介**

**（紹介先：　　　　　　　　　　　　　）**

**＊連絡欄**（学校生活への指示、日常生活への配慮等）

**令和　 　年　 　 月 　　日** 医療機関名

医　師　名

学校長　様

保護者名

＜成長曲線資料＞

保護者のみなさんへ

子どもの健康と身体の成長を評価するために、身長と体重は基本的な指標となります。

健康診断における身長・体重の測定結果から、身長・体重成長曲線及び肥満度曲線を利用して、検討することにより、身長が正常に伸びているか、体重は身長に対比して適正であるか、ホルモン等に関係する疾病や異常がかくれていないかなどを評価することができます。

◇成長曲線の見方◇

成長曲線とは、人間の身体的発達の程度を表した曲線のことをいいます。これまでに測定した身長、体重の値を成長曲線基準図上に表してみました。

測定した値（成長曲線）が7本ある基準線にきれいに沿っていれば、成長は適正であると言えます。

成長曲線基準図の中にある7本の基準線と基準線の間をチャンネルと言いますが、成長曲線がこのチャンネルを横切って上向きあるいは下向きになった場合に異常と判断します。

統計学的な判定のため、必ずしも病気等ということではありませんが、特に、2本の基準線を横切ってしまう場合は、何らかの疾患が疑われますので、かかりつけ小児科等医療機関で診察・指導を受けることをお勧めいたします。

◇「子供の健康管理プログラム」による判定基準◇

|  |  |
| --- | --- |
| ①高身長 | 身長の最新値が97パーセンタイル以上 |
| ②身長の伸びが異常に大きい | 過去の身長Ｚスコアの最小値に比べて最新値が１Ｚスコア以上大きい |
| ③低身長 | 身長の最新値が３パーセンタイル以下 |
| ④身長の伸びが小さい | 過去の身長Ｚスコアの最小値に比べて最新値が１Ｚスコア以上小さい |
| ⑤極端な低身長 | 身長の最新値がー2.5Ｚスコア以下 |
| ⑥肥満 | 肥満度の最新値が20％以上 |
| ⑦肥満の傾向が大きい | 過去の肥満度の最小値に比べて最新値が20％以上大きい |
| ⑧やせ | 肥満度の最新値がー20％以下 |
| ⑨やせの傾向が大きい | 過去の肥満度の最大値に比べて最新値が20％以上小さい |
| ⑩適正範囲内 | ①から⑨の何れの条件も満たさない群 |

＊　統計学的異常を含むので、必ずしも病的異常とはいえないが、②、④、⑤、⑦、⑨には注意が必要

学校では、お子さんの身長と体重の測定結果をもとに、「子供の健康管理プログラム」により、成長曲線・肥満度曲線を作成し、学校医に相談の上で、医療医機関受診の要否を判断しています。

　一人一人の子どもに素晴らしい個性があるように、子どもたちの成長の経過も千差万別です。

また、子どもの成長は様々な因子（体質、栄養、疾患、心理背景、ホルモン環境等）の総合的な

結果です。医師と相談しながら、お子さんの健やかな成長を、一緒に見守っていきましょう。